

<最終目標> 現代社会を理解し、主権者としての自覚をもつ

1	今年度の達成目標	現代社会を生きる上で必要な基礎知識を身につけ、自分の意見を持つ	担当 教師
2	公民科の指導戦略 <授業の指導戦略> (1) 思考する学習の展開・・・ 「覚える」のではなく「考える」活動を重視した授業を展開します。 (2) 史料読解力の育成・・・ 多くの史資料を読むことで、事実在即した思考力を身につけます。 (3) 事実に基づく歴史観の形成 (4) 学び合いの重視・・・ 生徒同士の学び合いを重視した授業を展開します。  <授業外の指導戦略> (1) マニフェスト調査・・・ 2021 年に行われる予定の第 49 回衆議院議員選挙を見据え、各政党のマニフェストを調べ、比較します。 (2) マニフェスト作成・・・ 1 年間の学習のまとめとして、政党やマニフェストを作成し、発表します。		
3	指導教科書	新現代社会 改訂版（第一学習社）	
4	補助教材	フォーラム 現代社会 2019（とうほう）	
5	評価・評定の方法	(1) 日頃の観察や小テストなどで「15 点／15%換算」します。 (2) 定期考査で「100 点満点／85%換算」します。 (3) 評価の観点（4 項目） * 社会的事象への関心・意欲・態度 * 社会的な思考・判断・表現 * 資料活用の技能 * 社会的事象についての知識・理解	

<<生徒諸君へ>>

- (1) 「家庭学習」・・・宿題、復習を必ず行い、ノートを毎日提出させてください。
- (2) 「持ち物」・・・教科書、ノート、資料集、ファイル、辞書（電子辞書可）を持参させてください。

公民科指導計画

	教科行事	現代社会	内容	達成目標(Can-Do)
4月		第1編 私たちの生きる社会	地球環境の変化が人間に与える影響を理解し、地球環境問題の解決のために取り組むべきことを考える。	○様々な地球的課題について理解し、その解決方法について考察し説明できる。 ○科学技術と生命倫理との関係を理解し説明できる。 ○情報社会の問題点について考察し説明できる。
5月	中間考査	第1章 青年期と自己の形成	青年期の課題や源流思想、日本の伝統思想を理解する。	○青年期の発達課題について理解し説明できる。
6月		第2章 個人の尊重と法の支配	法の支配、司法と人権の考え方を理解する。	○哲学や思想についての理解を深める。
7月	期末考査	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 第1回マニフェスト発表会	基本的人権の保障、平和主義と我が国の安全について理解し、日本国憲法の基本的原則について認識を深める。	○基本的人権の保障について理解し説明できる。 ○日本国憲法の基本原則について説明できる。
8月				
9月		第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 マニフェスト作成	国民主権と議会制民主主義、世論形成と政治参加の意義について理解する。	○国会、内閣、裁判所に関する基本的な知識を理解する。 ○現代政治の問題点や選挙のしくみを理解し説明できる。
10月	中間考査Ⅰ	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	技術革新と産業構造の変化、企業の動き、公的部門の役割と租税、金融機関の働きを理解する。	○経済のしくみについて説明できる。
11月		第5章 現代の経済社会と私たちの生活	雇用と労働問題、公害の防止と環境保全を理解する。	○日本経済の変化、雇用と労働問題について理解する。
12月	中間考査Ⅱ	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	雇用と労働問題、公害の防止と環境保全を理解する。	○日本経済の変化、雇用と労働問題について理解する。
1月		第6章 国際経済の動向と日本の役割	世界の主な国の経済の動向を理解する。 南北問題や貿易の拡大と経済摩擦について理解する。	○国際経済のしくみや動向について知り、その特徴について関心を持つことができる。
2月		第6章 国際経済の動向と日本の役割 第2回マニフェスト発表会	核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、国際平和や国際協力の必要性について理解する。	○核兵器と軍縮への取り組みの歩みについて理解する。 ○我が国の安全保障と防衛のあり方について考察できる。
3月	期末考査			